

SYLLABUS

シ ラ バ ス

令和8年度 後期

診療放射線科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

診療放射線科 教育課程（令和8年度後期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
数学	2	30	1	前期	核医学検査技術学Ⅰ	1	30	2	前期
物理学	2	30	1	前期	核医学検査技術学Ⅱ	1	30	2	後期
化学	2	30	1	前期	核医学機器学Ⅰ	1	30	2	前期
生物学	2	30	1	前期	核医学機器学Ⅱ	1	30	2	後期
英語Ⅰ	2	30	1	前期	放射線治療技術学Ⅰ	1	30	2	前期
英語Ⅱ	2	30	1	後期	放射線治療技術学Ⅱ	1	30	2	後期
保健体育	2	30	1	前期	放射線治療技術学Ⅲ	1	30	3	前期
キャリア教育	1	15	1	前期	放射線治療物理学Ⅰ	1	30	2	後期
医学概論	1	15	1	前期	放射線治療物理学Ⅱ	1	30	3	前期
臨床医学概論	1	30	3	前期	放射線治療機器学Ⅰ	1	30	3	前期
解剖学Ⅰ	1	30	1	前期	放射線治療機器学Ⅱ	1	30	3	前期
解剖学Ⅱ	1	30	1	前期	放射線写真学	1	30	1	前期
生理学	1	30	1	前期	医療情報学Ⅰ	1	30	1	前期
生化学	1	30	1	前期	医療情報学Ⅱ	1	30	3	前期
病理学Ⅰ	1	30	3	前期	医療画像工学Ⅰ	1	30	2	前期
病理学Ⅱ	1	30	3	前期	医療画像工学Ⅱ	1	30	2	後期
公衆衛生学	1	30	1	後期	医療画像工学演習	1	30	3	前期
救急医学概論	1	15	3	前期	放射線安全管理学Ⅰ	1	30	2	前期
看護学概論	1	15	1	後期	放射線安全管理学Ⅱ	1	30	2	後期
リハビリテーション概論	1	15	1	後期	放射線安全管理学演習	1	30	3	前期
薬理学	1	15	2	前期	関係法規	1	30	2	後期
応用数学	2	60	1	後期	医療安全管理学Ⅰ	1	15	1	前期
電気工学	2	60	1	前期	医療安全管理学Ⅱ	1	15	1	後期
電子工学	2	60	1	後期	実践臨床画像学演習	2	60	3	前期
放射線物理学Ⅰ	1	30	1	後期	臨床実習Ⅰ	1	45	2	後期
放射線物理学Ⅱ	1	30	2	前期	臨床実習Ⅱ	1	45	3	前期
放射化学	1	30	1	後期	臨床実習Ⅲ	10	450	3	後期
放射線生物学	2	60	1	後期	診療放射線学演習Ⅰ	2	60	3	後期
放射線計測学Ⅰ	1	30	2	前期	診療放射線学演習Ⅱ	2	60	3	後期
放射線計測学Ⅱ	1	30	2	後期					
放射線計測学演習	2	60	3	前期					
診療放射線技術学概論Ⅰ	1	15	1	前期					
診療放射線技術学概論Ⅱ	1	15	1	後期					
医用物理学	1	30	1	後期					
エックス線撮影技術学Ⅰ	2	60	1	後期					
エックス線撮影技術学Ⅱ	2	60	2	前期					
エックス線撮影技術学Ⅲ	1	30	2	前期					
エックス線撮影技術学Ⅳ	1	30	2	後期					
診療画像検査学Ⅰ	1	30	2	前期					
診療画像検査学Ⅱ	1	30	2	後期					
診療画像検査学Ⅲ	1	30	2	前期					
診療画像技術学演習	2	60	2	後期					
画像解剖学	1	30	2	前期					
臨床画像学	1	30	2	後期					
診療画像機器学Ⅰ	1	30	1	後期					
診療画像機器学Ⅱ	1	30	2	前期					
診療画像機器学演習	2	60	2	後期					
診療放射線学特論	1	30	3	後期					
放射性医薬品学Ⅰ	1	30	2	前期					
放射性医薬品学Ⅱ	1	30	2	後期					

令和8年度シラバス

診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
診療放射線学特論		講義	末安 朋雄・野沢井 隆・田中 悟・木田 瑞恵・小山 泰平・大石 有輔	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
診療放射線技術学について知り、理解できるようになることを目的とする。臨床実習を終えて必要な基礎知識について知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
診療放射線技術学について述べることができる。臨床実習を終えて必要な基礎知識について具体的に述べることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線治療技術学-1			
2	放射線治療技術学-2			
3	放射線生物学			
4	放射線計測学-1			
5	放射線計測学-2			
6	核医学診療技術学-1			
7	核医学診療技術学-2			
8	基礎医学-1			
9	基礎医学-2			
10	エックス線撮影機器学-1			
11	エックス線撮影機器学-2			
12	放射線安全管理学-1			
13	放射線安全管理学-2			
14	医療安全管理学-1			
15	医療安全管理学-2			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	国家試験方式の200問を出題する		
レポート・課題				
小テスト				
その他				
自由記載	再試験は筆記試験（100％）で評価する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
開講学期のみ再試験を行う。				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅲ		実習	末安 朋雄・野沢井 隆・岩井 克磨・小山 泰平・木田 瑞恵・大石 有輔・田中 悟・岩田 安優奈・森本 颯季	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
450 時間 （ 10 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
診療放射線技師としての基本的な実践能力を身に付け、併せて、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等養うとともに、被検者及び患者への適切な対応を学ぶ。				
授業の到達目標				
①診療放射線業務を知り、患者接遇を身につける。②体得した知識を実践できる（初歩的な業務）。③日常業務における記録及び報告の基本を習得する。④情報の収集・整理ができ、技術者として向上しようとする姿勢を身につける。⑤医療人としての態度を身につける。				
授業計画				
回	内容			
	オリエンテーション			
	臨床実習			
	実習期間：令和8年8月17日～10月29日の50日間			
	月曜日～金曜日			
	実習施設：学校が依頼し決定した病院			
	実習形態：病院にて臨床実習指導者の指導のもと診療放射線技師としての基礎を身につける			
	詳細については、オリエンテーション時に伝える			
	8月29日（土曜日）9：00～13：00実習報告会			
	9月27日（土曜日）9：00～13：00実習報告会			
</				

令和8年度シラバス

診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
診療放射線学演習Ⅰ		演習	西村 茂樹・中島 裕夫・野口 裕・河合 正悦・沼崎 穂高・村山 法幸・田上 修二	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
診療放射線技術学について知り、理解できるようになることを目的とする。臨床に必要な基礎知識について知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
診療放射線技術学について述べることができる。臨床に必要な基礎知識について具体的に述べることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線治療技術学-1	16	放射線生物学-1	
2	放射線物理学-1	17	放射線生物学-2	
3	医用工学-1	18	放射線物理学-4	
4	医用画像情報学-1	19	医用工学-4	
5	放射化学-1	20	放射化学-4	
6	放射化学-2	21	放射線生物学-3	
7	放射線治療技術学-2	22	放射線生物学-4	
8	放射線物理学-2	23	放射線物理学-5	
9	医用工学-2	24	診療画像検査技術学（US）-1	
10	医用画像情報学-2	25	放射線治療技術学-4	
11	放射線治療技術学-3	26	放射線物理学-6	
12	放射線物理学-3	27	診療画像検査技術学（US）-2	
13	医用工学-3	28	放射線治療技術学-5	
14	医用画像情報学-3	29	診療画像検査技術学（US）-3	
15	放射化学-3	30	放射線治療技術学-6	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
その他				
自由記載	再試験は行わない。			
教科書				
書名		著者・編集者名		出版社名
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名		出版社名
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
診療放射線学演習Ⅱ		演習	末安 朋雄・野沢井 隆・岩井 克磨・小山 泰平・木田 瑞恵・田中 悟・大石 有輔	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
診療放射線技術学について知り、理解できるようになることを目的とする。臨床に必要な基礎知識について知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
診療放射線技術学について述べることができる。臨床に必要な基礎知識について具体的に述べることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線治療技術学-1	16	エックス線撮影機器学-2	
2	放射線治療技術学-2	17	核医学診療技術学-1	
3	放射線計測学-1	18	核医学診療技術学-2	
4	放射線計測学-2	19	放射線生物学-1	
5	放射線安全管理学-1	20	放射線生物学-2	
6	放射線安全管理学-2	21	放射線物理学-1	
7	エックス線撮影技術学（CT）-1	22	放射線物理学-2	
8	エックス線撮影技術学（CT）-2	23	医療安全管理学-1	
9	診療画像検査学（MR）-1	24	医療安全管理学-2	
10	診療画像検査学（MR）-1	25	エックス線撮影技術学（一般）-1	
11	基礎医学大要-1	26	エックス線撮影技術学（一般）-2	
12	基礎医学大要-2	27	画像解剖学-1	
13	基礎医学大要-3	28	画像解剖学-2	
14	基礎医学大要-4	29	診療画像検査学（MR）-3	
15	エックス線撮影機器学-1	30	診療画像検査学（MR）-4	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
その他				
自由記載	再試験は行わない。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				